

新入荷商品のご紹介



素描き友禅 夏名古屋帯
市松に素描きの柄が涼やかで、夏の着物に、浴衣にも使える上質な名古屋帯です。
215600円



衿秀 夏帯締め
上質で透け感のある夏の帯締めは見た目にも涼やかな印象を与えてくれます。
14300円



水うちわ ほたる
風流な夏の風物詩として、実用にもインテリアにもおしゃれな水うちわです。
9900円



印伝 小物入れ
あじさいの柄が2色使いのうるしで描いてある、特にあじさいの咲くこの時期に使いたくなる逸品です。
5170円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2023年5月号

ごあいさつ



先日、友人に誘われて、自転車で岡崎公園まで片道25km、合計50kmの道のりを旅してきました。『行きはよいよい』なのですが、帰りはお尻が痛いわ、暗くて不安になるのは、とても大変でした。ただ、だんだん保守的になって自分との戦いで、新しい経験は意識しないといけないので、これからは、チャンスがあったらいろいろと挑戦していきたいです。

6月の連休

6月6日(火) 7日(水)
6月20日(火) 21日(水)

特集 笠仙松煙染めの魅力



この浴衣を触ってみると、あまり和装に詳しくない方ですら、この浴衣の上質さは直ぐに伝わってくると思います。生地を凝らすと、色と太さの違う糸をランダムに組み合わせることによって、見た目にムラ感のある生地風を生み出しています。そして、その効果は人間の目に面白みと立体感を生むきっかけとなっています。これは私の持論でもありますが、手仕事の魅力は、職人の長年の経験に基づく技術の蓄積であるため、はた目には完璧に見えても、適度なムラ感が良い意味で存在します。そのことを、計算した上でこの生地を作り上げているかどうかはわかりませんが、とても魅力的な生地風が出来上がっています。笠仙の浴衣の魅力は、長年にわたりこうしたこだわりを蓄積したものであり、一朝一夕にできるものでないことは、容易に想像できます。この変化の大きい時代に、一見すると、伝統をただ繰り返しているように見えますが。そこには時代の流れを的確に捉え、マイナーチェンジを繰り返す笠仙のモノづくりイズムを、感じる事ができます。また、この浴衣は松煙染めという特殊な染め方で染められています。樹脂分の多い松の根を燻した煙で膠を練り、豆汁に於いて染めたものを松煙染めと言います。伝統的な染め方の引き染めに、手差しで彩色をほどこしています。

SNSで情報発信中!

かわちやの新着商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<https://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539